

第13回 衛星開発・実証委員会 議事録

1 日 時 令和4年3月8日（火）10：00～12：00

2 場 所 内閣府宇宙開発戦略推進事務局 大会議室（オンライン開催）

3 出席者

(1) 委員

中須賀座長、片岡座長代理、石田委員、倉原委員

(2) 内閣府 宇宙開発戦略推進事務局

恒藤参事官、笠間企画官

4 議題

(1) 今後の衛星開発戦略について（企業ヒアリング）

○内閣府 定刻になりましたので、第13回衛星開発・実証小委員会を開催したいと思います。

本日は第11回衛星開発・実証小委員会の議題「今後の衛星開発戦略について」にて承認された「今後の検討の進め方」に基づき、民間企業へ、今後のビジネス戦略及び、それをふまえてどのような技術開発が重要と考えるかなどについて、ヒアリングを実施します。あわせて、各省の小型衛星コンステレーションの施策を整理します。以降の進行は中須賀座長よろしく願います。

○中須賀座長 それでは、始めたいと思います。まず、民間企業より説明をお願いします。

<民間企業より、資料に基づき説明>

○中須賀座長 ありがとうございます。（※議事要旨に記載の通り、ヒアリングの資料及び議事については、個別の民間事業者の経営戦略等に関する情報を含むことから、非公開。）

(2) 今後の衛星開発戦略について（小型衛星コンステレーションの取組）

○中須賀座長 次の議題においては、各省の役割をあらためて明確化し、その役割に従い小型衛星コンステレーションの施策を進めているかを整理します。まずは、各省よりご説明をお願いします。

<各省より、資料1に基づき説明>

○中須賀座長 ありがとうございます。

それでは、今の説明に対しましてコメント、質疑がありましたら、よろしく願いいたします。いかがでしょうか。

○石田委員 低軌道衛星間光通信の技術開発は重要である。様々な企業にアイデアを競わせ、その中から良いものを選択していくことも検討して欲しい。

○中須賀座長 重要な観点であるため、ぜひ検討してほしい。

○内閣府 今後関係者と調整させていただきます。

○片岡座長代理 米国との連携も重要であり、また、単なる実証に留まらず、段階的に実用に使えるようなものを作っていけるようにできるとよい。

○中須賀座長 まさにおっしゃる通りだと思います。

他に何かございますか。それでは私から。

技術開発支援、政府調達、民間の利用促進、海外展開支援の4つに整理することができる。観測衛星については、今回のスターダスト事業も含めて全体が上手く回り始めていると感じている。他方、宇宙政策全体としては政府調達の部分はまだまだ弱いところ。米国は戦略的に調達による支援をしていると思うので、彼らのやり方も参考に考えていってほしい。

他にコメントありますでしょうか。最後に事務局から何かございますか。

○内閣府 ありがとうございます。

本日の企業ヒアリングの資料及び議事については、個別の民間事業者の経営戦略などに関する情報を含むことから、非公開とします。また、小型衛星コンステレーションの取組に関する各省説明資料については、後日ホームページに公開します。また今後のヒアリング候補、日程については別途調整をさせていただければと思っております。

○中須賀座長 それでは、本日の第13回衛星開発・実証小委員会はこれで終了いたします。

ありがとうございます。

以上